

Albert Einstein's Conversion: A Historical Investigation

なぜアルベルト・アインシュタインは ∞ 無限宇宙の理論を放棄し、ビッグバン理論の信奉者へと改宗したのか？哲学的考察。

印刷日：2024年12月26日

CosmicPhilosophy.org
哲学による宇宙の理解

目次

1. 🤪 ビッグバン理論を疑問視したことで禁止された

2. アルベルト・アインシュタインの改宗

2.1. 1929: アインシュタインの改宗に関するメディアの誇大宣伝

2.2. 1931: アインシュタインの継続的な拒絶

2.3. 1931: アインシュタインの不思議な失踪論文

2.4. 1932: アインシュタインの信者への改宗

2.5. なぜ？

2.5.1. 科学の進歩

2.5.2. 神がそうしたのだという議論

3. 🕒 時間の始まり

3.1. カラーム宇宙論的論証

3.1.1. 💬 討論

4. 結論

第1.章

ビッグバン理論

を疑問視したことで禁止された

CosmicPhilosophy.orgの著者は、 [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com)のために行った哲学的調査で、ビッグバン理論が彼が調査していた🦋自由意志廃絶運動の究極の基盤と考えられることが明らかになった2008-2009年頃から、ビッグバン理論の初期の批判者でした。



ビッグバン理論の批判者として、著者はビッグバン批判に対する科学的審問的抑圧を直接経験しています。

2021年6月、著者はビッグバン理論を疑問視したことでSpace.comから追放されました。その投稿は、公式の説明に異議を唱えたアルベルト・アインシュタインの不思議にも失われた論文について議論していました。

ベルリンのプロイセン科学アカデミーに提出されたアルベルト・アインシュタインの不思議にも失われていた論文が2013年にエルサレムで発見されました...

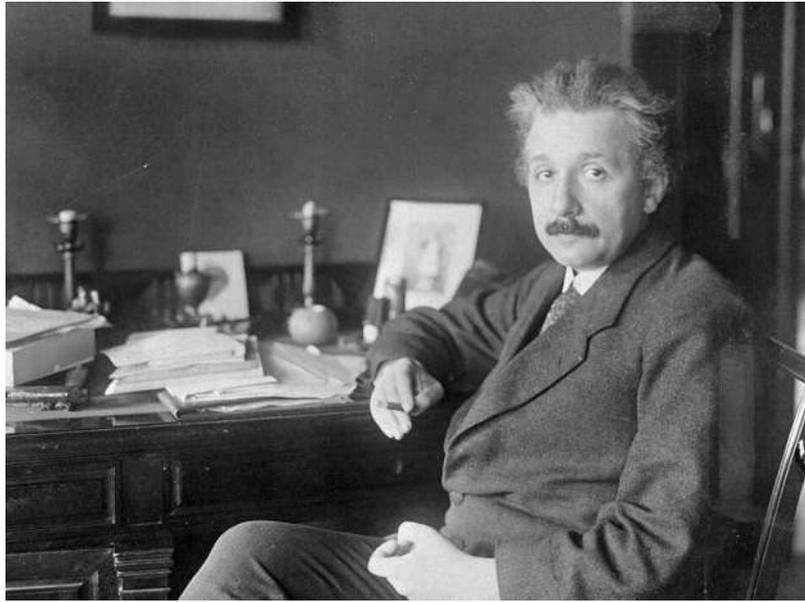
(2024) アインシュタインに私は間違っていたと言わせる

ソース: [第2.章](#)

一部の科学者の間でビッグバン理論が宗教的な地位を獲得しているという認識の高まりについて議論したその投稿は、いくつかの思慮深い返信

を集めていました。しかし、Space.comでの通常の慣行である単なる閉鎖ではなく、突然削除されました。この異常な行動は、その削除の背後にある動機について疑問を投げかけました。

モデレーターの声明このスレッドは役目を終えました。貢献してくださった方々に感謝します。ここで閉鎖しますは、実際にスレッド全体を削除しながら、矛盾して閉鎖を告知しました。著者が後にこの削除に対して丁寧な異議を伝えた際、対応はさらに厳しくなり、Space.comのアカウント全体が禁止され、過去の投稿がすべて消去されました。これはプラットフォームにおける科学的議論への懸念すべき不寛容を示唆しています。



第2.章

アルベルト・アインシュタイン

信者への改宗の歴史的調査

公式の説明と、アルベルト・アインシュタインが ∞ 無限宇宙の理論を放棄してビッグバン理論の信者に改宗した**理由**の主な論拠の一つは、エドウィン・ハッブルが1929年に赤方偏移●のドップラー解釈（第3章）を通じて宇宙が膨張していることを示し、それによってアインシュタインは自分が間違っていたことを認めざるを得なくなったというものです。

アインシュタインはこれは私が今まで聞いた中で最も美しく満足のいく創造の説明ですと述べ、 ∞ 無限宇宙に関する自身の理論を自分の経歴における**最大の過ち**と呼びました。

(2014) アインシュタインの失われた理論はビッグバンのない宇宙を描写している

ソース: ディスカバー・マガジン

歴史の検証により、公式の説明が無効であり、アインシュタインの supposed 改宗に関するメディアの誇大宣伝から直接派生したものであ

ることが明らかになります。アインシュタインがこれを快く思っていなかったことを示す証拠として、ハッブルの発見から2年後の論文でエドウィン・ハッブルの名前を習慣的に誤って綴っていたという事実があります—これはアインシュタインの周知の綿密な仕事ぶりとは矛盾する細部です。

Zum kosmologischen Problem (宇宙論的問題について) と題されたアインシュタインの論文は不思議にも行方不明となり、後に巡礼地であるエルサレムで発見されました。その一方で、アインシュタインは突然信者に改宗し、司祭とともにアメリカ全土を巡ってビッグバン理論を宣伝することになりました。

アインシュタインがビッグバン理論の信者に改宗することになった出来事の簡単な概要：

第2.1.章

1929: アインシュタインの改宗に関するメディアの誇大宣伝

1929年以来、アインシュタインがエドウィン・ハッブルの発見により信者に改宗したと主張する大きなメディアの騒ぎがありました。

全米の新聞見出しが飾られ、アルバート・アインシュタインが膨張宇宙の信奉者に改宗したと報じました。

1929年当時のメディア報道、特に一般紙では、アインシュタイン、ハッブルの発見により改宗やアインシュタイン、宇宙膨張を認めるといった見出しを使用しました。

ハッブルの地元新聞スプリングフィールド・デイリーニュースはオザーク山脈を出た若者[ハッブル]が星を研究し、アインシュタインの考えを変えさせると見出しを打ちました。

第2.2.章

1931: アインシュタインの継続的な拒絶

歴史的証拠は、アインシュタインが彼の改宗に関するメディアの騒ぎの後も、膨張宇宙論を積極的に拒否し続けていたことを示しています。

ハッブルの発見から2年後、[アインシュタイン]は膨張宇宙論の重大な欠点を指摘しました...。これはアインシュタインにとって大きな障害でした。...物理学者が彼にこの理論について話を持ちかける度に、彼はその理論を却下していました。

第2.3.章

1931: アインシュタインの不思議な失踪論文

1931年、アルバート・アインシュタインはZum kosmologischen Problem（宇宙論的問題について）と題する論文をプロイセン科学アカデミーに提出し、非膨張宇宙の可能性を認める新しい宇宙モデルを導入することで ∞ 無限宇宙の理論を展開しました。これは1929年以来の彼の改宗に関するメディアの騒ぎの主張と直接矛盾するものでした。

この論文は不思議なことに行方不明となり、2013年にエルサレムで発見されました。その中でアインシュタインはエドウィン・ハッブルの名前を習慣的に誤って綴っていました。アインシュタインが緻密な仕事で知られていたことを考えると、これは意図的なものだったに違いありません。

第2.4.章

1932: アインシュタインの信者への改宗

論文が行方不明になった直後、アインシュタインはビッグバン理論の信奉者に改宗し、カトリックの司祭と共に全米を巡る理論推進ツアーに参加することになります。これは教会の影響力が働いていた可能性を示唆しています。



司祭ジョルジュ・ルメートルが1933年1月のカリフォルニアでのセミナーで講演した後、アインシュタインは劇的な行動を取りました - 彼は立ち上がって拍手し、後に有名となる発言をしました：これは私が今まで聞いた中で最も美しく満足のいく創造の説明です。そして、彼は ∞ 無限宇宙に関する自身の理論を自身の経歴における**最大の過ち**と呼びました。

彼の改宗に関するメディアの騒ぎの最中に、何年もの間ビッグバン理論を激しく拒否していた立場から、司祭と共に全米を巡るツアーに参加して積極的に推進する立場への転換は、profound（深遠）なものでした。

アインシュタインの改宗は、ビッグバン理論の普及において重要な転換点となりました。

第 2.5. 章

なぜ？

なぜアルバート・アインシュタインは ∞ 無限宇宙に関する自身の理論を**最大の過ち**と呼び、ビッグバン理論とそれに関連する🕒時間の始まりの推進者に転向したのでしょうか？

アルバート・アインシュタインの改宗の歴史を調査することは、深遠な哲学的洞察への鍵を握っているかもしれません。なぜなら、アインシュタインは世界平和の積極的な活動家であり、彼の著作世界平和論は国際

連合の設立に先立つものだったからです。これについては、 GMODebate.orgの [平和理論に関する記事](#)で詳しく探求しています。

もしアインシュタインが科学的真実から意識的に逸脱する選択をしたとすれば、彼の動機は何だったのでしょうか？

いくつかの明白な候補があるにもかかわらず、この問いは予想以上に深い哲学的深度を持っているかもしれません。なぜなら、科学は動機の根本的な基盤としてドグマを受け入れる以上のことはできないかもしれないからです。

科学哲学者のスティーブン・C・メイヤーは著書生命の起源の謎の中で、ドグマ的、さらには宗教的な逸脱を意識的に好む可能性のある主要な動機は、科学の進歩そのものであると述べています。

格言：

主要な問題は動機である。

教会の影響を示す兆候があるにもかかわらず、個人的な観点からアインシュタインの決定につながった優先事項は、神がそうしたのだという議論に内在する知的怠慢の可能性を防ぐことだったかもしれません。

逆説的に、宗教的な時間の始まりを受け入れることで、アインシュタインは科学的進歩を達成するという科学の主要な利益に貢献できたのかもしれない。

第3.章

時間の始まり

哲学のケース

 時間の始まりという考えの背後にある哲学について、2024年のAEONのエッセイで更なる読み物が提供されており、このケースが哲学に属することを明らかにしています。

(2024) 科学者たちはもはや宇宙がビッグバンで始まったことを確信していません

ソース: [AEON.co](https://www.aeon.co)

科学がビッグバン宇宙論とそれに関連する時間の始まりを擁護する一方で、学術哲学は逆の立場を取り、時間に始まりがあると主張する宗教的なカラム宇宙論的論証に挑戦してきました。

哲学教授アレックス・マルパスとウェス・モリントンによる無限かつ無限と題された論文についてのフォーラム討論で、ニューヨークの哲学教師は次のように論じました：

第3.1.1.章

カラム宇宙論的論証についての討論

☞ 無限かつ∞無限

セラピン・ステーション：

...もし T_n より前に無限の時間があるなら、私たちは T_n に到達できません。なぜなら **T_n より前の無限の時間を完了することはできない**からです。なぜできないのか？それは無限が私たちが到達したり完了したりできる量や数ではないからです。



...特定の状態 T に到達するためには、無限の前の変化状態が存在する場合、 T に到達することは不可能です。なぜなら**無限を完了して T に到達することはできない**からです。

私：

あなたはカラム宇宙論的論証を擁護していますね。

セラピン・ステーション：

私は無神論者です。

私：

あなたが法王だと主張したとしても、あなたの論理の妥当性を検討する際には何の違ひもありません。

カラム主義者が全く同じ議論をした場合、それは異なるものになるでしょうか？

ソース: ☞ [オンライン哲学クラブ](#)

論文無限と∞無限はフィロソフィカル・クォーターリーに掲載されました。その後続論文世界のすべての時間はオックスフォードのマインド誌に掲載されました。

(2020) 無限かつ∞無限

ソース: [マルパス教授のブログ](#) | [フィロソフィカル・クォーターリー](#) | [オックスフォードのマインド誌](#)での後続

第4.章

結論

ア インシュタインがビッグバン理論と、それに付随する🕒時間の
始まりの信奉者へと転換した理由を探ることは、宇宙論の範疇
を超えた深遠な哲学的洞察への鍵となり得る。



宇宙哲学

あなたの洞察とコメントを info@cosphi.org でお
寄せください。

印刷日：2024年12月26日

CosmicPhilosophy.org
哲学による宇宙の理解

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.

~バックアップ~